

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

7月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘



- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

更新中

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

夏野菜収穫！

校長 中 畠 弘喜

校長室の窓の外に、2年生が育てている野菜の大きな鉢が並んでいます。トマト42鉢、ナス23鉢、ピーマン14鉢、今年はお天気がよかったせいか、どの野菜も収穫の時を迎えています。

毎日、水やりと収穫のため、訪れる2年生の会話を聞いていると、「今日で5個目だよ！（トマト）」、「こんなに大きくなったよ！（ナス）」と野菜自慢が聞こえてきます。数を自慢するトマトに対して、大きさを自慢するナス。どうしてか、ピーマンの自慢は、聞こえてきません。そこで、ピーマンを育てている子に、ピーマンを選んだ理由を聞いてみると、みんな「好きだから。」と笑顔で答えてくれました。自分で育てた野菜の味は、また格別のことでしょう。

2年生は生活科の学習では、野菜作りをしています。地元農家の鈴木清一さんの協力を得て、大きな畑での種まきや収穫もしています。先日も「みず菜」を抱えきれないほど、たくさん収穫してきました。2年生だけでなく、他の学年の子どもたちも「みず菜」を持ち帰ることができ、高学年の子どもは、すぐに鈴木さんの畑の「みず菜」だとわかりました。秋には、サトイモや大根の収穫もあります。大変貴重な体験をさせていただき、感謝の一言です。

1年生では、アサガオとチューリップ、2年生では野菜、3年生以上の学年でも、植物との関わりを奈良の丘小学校では大切にしています。これは、奈良の自然豊かな環境を愛し、守ろうとする心情を育てたいと考えているからです。本校では、花壇が荒らされたり、鉢をいたずらされたりすることはありません。植物に愛情をもって接している経験が生かされ、根付いているのだと感じています。

私が小学校の頃は、生活科と言う教科はなく、野菜を育てて収穫した記憶はありません。仮に2年生と同じ学習をしていたなら、野菜がかなり苦手だった私は何を育てるか、究極の選択を迫られていたことでしょう。もしかすると、苦手な野菜をもっと早く克服できていたのかもしれない。



あかね台中学校ブロック交流会

4組さんが、あかね台中学校、田奈小学校との交流会を16日(木)にあかね台中体育館で行いました。ゲームやクイズなど、楽しく過ごすことができました。あかね台中には卒業生もたくさんいて、和やかな雰囲気の中、本校の子どもたちも司会やゲームの説明をしっかりと行うことができました。

